

神流町 土坂峠ボルダー

2017.12.1 rctK

何年も前のことになるが、十石峠で登った帰路に万場から土坂峠を越えて帰ったことがある。その際、峠に登って行く途中で、左の小さな沢の奥にちょっとしたきれいなフェイスを見つけた。せっかくだからと確認しに行ってみると、岩の正面は泥がついてはいるが、きれいな垂直のフェイスで、側面は高さはないがハングしており、何本か課題ができそうであった。

その後、この峠を越える機会はなかったのので、気にもしていなかった。最近、帰省のついでに神流川流域でボルダリングをしていくことが多くなり、久しぶりに峠を越えて再確認してみると、難しい課題はできそうもないが、そこそこ遊べそうだったので、掃除をしてトライしてみた。ボルダーとしてはお勧めという程のものではなく、こんなボルダーもあるという程度で受け止めてもらいたい。

場所は秩父市の吉田地区から県道71号線を神流町の万場に向かい、土坂峠を越えて少し下ったところであるが、良い目印となるものがないので地図を参照してもらいたい。駐車は適当に林道の脇に停められるが、少し下った曲がり角辺りが良い。ボルダーまでは小沢の左岸側(向かって右側)にちょっとした踏み跡があるので、そこから入り、左に回り込むようにいくと、藪も倒木もなく簡単である。



《課題紹介》

ダイヤモンドフェイスは垂直で、掃除をしてみると、意外とホールドが多く、思ったより易しいフェイスであった。

課題は左のカンテを合わせて4本あり、泥は簡単に落としたが、まだ粉粉であり、ホールドは持ちにくい。チェックはしたが、未だ浮石がありそうで、高さもあるので注意が必要。

側壁ハングは、少し脆い部分があり、浮石を大分落とした。

課題は4本あり、リップ付近やリップより下のフィンガーホールドがスタートホールドになっている。足をしっかり使わないと、次のホールドをとるのがきつい。

左:側壁ハング 右:ダイヤモンドフェイス(仮称)

